

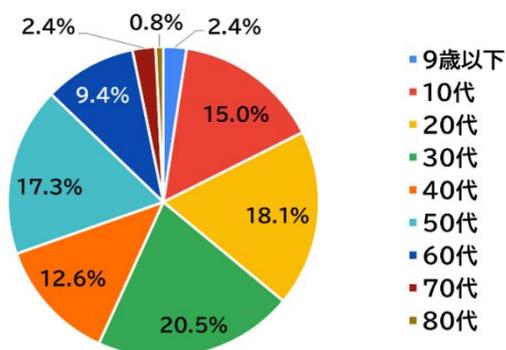
主な回答結果

回答者数：126名

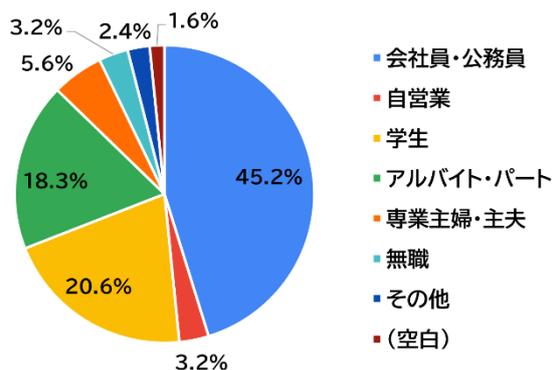
回答期間：2025年5月18日(日)～5月31日(土)

広報手法：バス車内でのポスター掲示、各社HP、SNS等での発信、
紙屋町シャレオ内サイネージでの投影、バスロケ表示器での投影 等

◆回答者の年代構成



◆回答者の職業



🌸 ～バスにまつわる嬉しかったエピソード（抜粋）～

- ・「自分が座っていたところを、立っていたご年輩の方にお譲りしたとき、ありがとうといわれて、ちっちゃなことだけどうれしかったです。」（10代、女性、学生）
- ・「学生時代に夜の帰りのバスで降りるお客さん一人一人にありがとうございました、おやすみなさいって声かけされている運転手さんがいてとっても嬉しい気持ちになりました。」（30代、男性、会社員・公務員）
- ・「いつも乗車する路線が同じなので、バス停に向かって歩いている時に私の姿を見て発車を待ってくれる乗務員さんがいらっしゃいます。障害持ちで走れないためとても有り難く思っています。」（50代、男性、会社員・公務員）

🚌 ～バス運転士の方へひと言（エール）（抜粋）～

- ・「一日の始まり、一日の終わりにバスを利用しています。暑い日も寒い日も晴れの日も雨の日も変わらず通勤できているのは皆様のおかげです。これからもよろしくお願いします！」（30代、女性、アルバイト・パート）
- ・「深刻な人手不足とニュースでよく耳にします。世の中の状況が変わるたびに振り回されるのは運転士の皆さん。しかし、皆さんがいないと世の中が動けません。どうか頑張ってください。安全第一で。」（30代、女性、会社員・公務員）
- ・「常にプレッシャーの中、本当に大変だと思いますが、私たちをいつも安全に運んでくださってありがとうございます。」（20代、女性、自営業）

今後の展開

今回の取組でいただいた声を各バス会社にも直接届け、バス運転士のさらなる待遇向上を図るため社内研修等で活用するとともに、採用活動等でバス運転士が働きがいのある仕事であることを広めていきます。